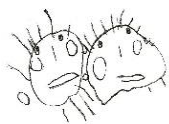


いっぽ だより



2022年度 No. 11

はじめのいっぽ

2023年2月27日

春の足音が聞こえてくる今日このごろ、皆さんお元気でお過ごしでしょうか。

2月3日は「鬼は～外～、福は～内～」と節分の豆まき。18日は毎年恒例の子どもたちとの味噌造り、今年も美味しくできるか今から楽しみです。一月から二月にかけて個人面談期間、そして子どもの一年間を記録したムービー制作とあつという間のひと月でした。

心強いニュースです。非常勤職員として平成30年から勤務している三坂一紗先生が、この三月から常勤職員として働いてくれることになりました。これからも変わりなく子どもたちとの関わりを大事に向き合っていたいただきたいと思います。

最近、障害者施設の入所者の自立支援（地域移行）について報じられていました。七年程前に起きた相模原市の知的障害者施設（津久井やまゆり園）で入所者が元職員に殺害された事件。最近では八王子市の精神科病院で入院患者に対して暴言や暴力で看護師が逮捕された事件。これらの施設は社会から隔離され閉鎖的な場所であり、偏見や虐待そして暴力の温床となっている。

また、自由のない施設にいる入所者は、施設を出て自宅や借家、グループホーム等のプライバシーが保たれる所で自立した生活をしたいと思っても、偏見などから親や施設の反対も多い。施設に居ると共同生活で所持金も自由に使えない。しかし少しずつではあるが施設から出て自立した生活を楽しんでいる人もいます。

伊達市のグループホームでは入居者同士でカラオケや銭湯に行くことも多く、当時400人だった施設の定員が現在では150人に減少したそうです。また道北の美深町では15年前に施設を廃止した。きっかけは入所者の女の子から切実な叫び「一人で泣きたい時どこで泣けばいいの」と言われ、人間らしく生きられない施設であれば必要ないと廃止したのです。入所者の地域での自立である地域移行が徐々にではあるが進んでいる。

施設を出て本人の希望とは言えグループホームなどで暮らすのは大変な事もあるようですが、自立した生活の中では、もめ事もストレスによる自傷行為も少なくなり、支えがあれば地域の中で障がい者は生き甲斐を持って自立できています。その為にも地域をはじめ国や自治体の支援は欠かせません。

はじめのいっぽは、わか子先生がH23年に法人を設立した時からノーマライゼーション（障がいのある人も障がいのない人と同じように社会で暮らしていくこと）という考えを大切にしていました。その思いを実現できるよう、今後就労支援事業を通じて障害者が地域で自立した生活が送れるように環境整備を行っていきます。

代表 石橋 和久



2月のスケジュール

日時	行事
3月10日（金）	AM/PM 避難訓練
3月13日（月）	定例会議
3月17日（金）	あっちこっち紙芝居
3月23日（木）	AM/PM 避難訓練
3月27日（月）	春休み

小中学生編（2月活動）

最近は、おやつ準備やおやつあと片付けを子どもたちが進んでやってくれるようになってきました。お手伝いしながら今日一日、学校であったことをスタッフを含めみんなで共有し、笑ったり、時には真剣な顔をして、とても大切なコミュニケーションの場になっています。

～みそづくり～

どうして手作りするのか、いっばの味噌と売っているはどう違うのか、味噌はそもそも何からできているのか・・・などなど、手作りする大切さを子供たちに伝えることから始めます。すると、豆ひと粒一粒を大切にいとおしむようにつぶしてあげることができました。今作っている味噌を食べる事ができるのか、それとも、もう卒業してしまって後の子たちにゆだねることになるのかまではわかりませんが、今頂いているお味噌は、3、4年前にいたお友達が心を込めて作ってくれたものです。いっばのお味噌は生きています。だから、命のリレーとも言えるのではないのでしょうか。

山本 寿果

今年の冬は、外活動に欠かせない雪がタイミングよく降ってくれて、楽しい遊びを満喫しています。滑り台からのジャンプはパウダースノーが降り積もった日にしかできません。飛び出す勇氣は自分で判断することをルールにテイクオフ!! 着地した瞬間に舞い上がる雪をかぶるのは最高に気持ちいい!! 湿った雪の日には雪合戦です。なぜか、子どもたちVSひとリスタッフの戦いとなり、先日なんかは7対1と子どもたち圧勝でした。また、みんなで作ったイグルーも太陽には勝てず、解体始めて来たので解体することとなりました。来年も作ろうね。

今年の冬もいっば広場だけにこだわらず、いろいろなところに出かけ北海道に生まれた幸せをみんなで満喫しています。

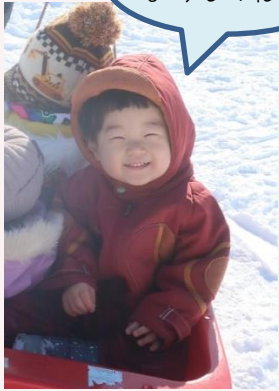


日本の伝統文化を体験とともに、由来もしっかり伝えて行くいっばでありたいと思っています。



ひつじ組 編 (午前未就学児)

そうます。
よろしくね!



今月は、あたらしい仲間が加わりました。“そうまくん”です。笑顔いっぱい通ってくれています。
一人ひとりの写真を日を追って見ていると表情がどんどん豊かになっていくのが良くわかります。一つのことに集中する時間が増えたり、おはなしの時、相手の目を見て自分の思いを伝えるようになったりと、びっくりする程会話も増えています。自分の意思を相手に伝えることが出来るようになると心も安定し、笑顔でいっぱいになるのですね。



～節分～

節分を心待ちに、日々の制作活動では、おにのかぶりものや豆入れを作りました。なんとも可愛らしいおにさんですね。豆まきの時は「おにはうち～！ふくも～うち～」と豆をまきました。4. 5歳までは炒った大豆を食べるのは控えたほうがよいので、年の数だけ食べることはできませんでしたが、日本の大切な文化は守り続けたいものです。



～集中する姿～

24日のお買い物ごっこの日を楽しみに、はさみをつかったり、ぐるぐる毛糸を巻いたり、出来ることは自信をもって！できにくいことは、少しだけ手助けをして、やり切った達成感を味わいました！



当日を待ちきれず、その都度「持って帰る！」となりましたが、ちゃんと我慢もできました。